

生駒市英語教育カリキュラム

生駒市教育委員会

平成31年1月

(令和2年6月改訂)

【目次】

1. **令和 2 年度** (2020 年度) からの新学習指導要領全面実施に向けた
英語教育推進実施計画
2. 生駒市の英語教育の全体像
3. 小学校・中学校の 9 年間を通じた生駒市英語教育の CAN-DO リスト

【資料】

- 資料 1. 小学校各学年年間指導計画
- 資料 2. 生駒市小学校における外国語活動及び外国語の授業について
- 資料 3. 英語教育における小学校と中学校の連携に向けて

1. 令和2年度(2020年度)からの新学習指導要領全面実施に向けた英語教育推進実施計画

年度	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
文科省		新学習指導要領告示		新学習指導要領移行措置期間 小学校教科書採択 中学校教科書採択	新学習指導要領 全面実施【小学校】 中学校教科書採択	新学習指導要領 全面実施【小学校】 中学校教科書採択	新学習指導要領 全面実施【中学校】
生駒市	小学校3・4学年 外国語活動の 取組を始める	小学校1・2学年 外国語活動の 取組を始める	★生駒市英語教育推進委員会 小学校1・2学年 英語教材の作成	★ALTコーディネーターの設置 生駒市版CAN-DO リストの作成	★ALTコーディネーターの設置 ★生駒市版CAN-DOリストを活用した英語教育		
生駒市 中学校			【年140時間】 検定教科書使用:NEW CROWN ALTの配置、改善、研修				【年140時間】 ・検定教科書使用
生駒市 5・6学年 小学校		★外国語活動【年35時間】 ・文科省教材活用：Hi, friends! ・ALT12時間/クラス		★外国語活動【年50時間】 (外国語活動)35時間+総合的な学習15時間 ・文科省教材活用：Hi, friends!, We Can! ・ALT16時間/クラス		★外国語科【年70時間】 ・検定教科書使用:New Horizon Elementary 5/6 ・ALT16時間/クラス	
生駒市 3・4学年 小学校		★外国語活動【年12時間】 ・学校独自の教材を活用 ・ALT12時間/クラス		★外国語活動【年35時間 先行実施】 (総合的な学習)15時間+教育課程外20時間 ・文科省教材活用：Let's Try! ・ALT16時間/クラス		★外国語活動【年35時間】 ・文科省教材活用：Let's Try! 1/2 ・ALT16時間/クラス	
生駒市 1・2学年 小学校		★外国語活動【年10時間】 ・学校独自の教材を活用				★外国語活動【年10時間】 ・生駒市教材活用：Ready... Go! 1/2 ・ALT10時間/クラス	

2. 生駒市の英語教育の全体像

【中学校卒業時の目指す子どもの姿】

1. 自分の夢や学び育った生駒について、英語で伝えることができる
2. 日常生活の身近な事柄について、英語で伝え合うことができる
3. 意欲的に国際交流に関わり、自ら進んで英語でコミュニケーションを図ることができる

【中学校(1・2・3 学年)の目標】

- ① 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を養う。
- ② 日常的话题や社会的な話題について、英語で表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ③ 英語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【小学校(5・6 学年)の目標】

- ① 言語活動を通して、読むこと、書くことに慣れ親しみながら、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を養う。
- ② 身近で簡単な事柄について、話し合ったりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- ③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【小学校(3・4 学年)の目標】

- ① 体験的な活動を通して、日本語と外国語との音声の違いなどに気づくとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- ② 身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- ③ 言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【小学校(1・2 学年)の目標】

- ① 体験的な活動を通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- ② 身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことに慣れ親しむようにする。
- ③ 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

小学校・中学校の9年間を通じた生駒市英語教育のCAN-DOリスト

中学校卒業時の目指す子どもの姿

- ・自分の夢や学び育った生駒について、英語で伝えることができる
- ・日常生活の身近な事柄について、英語で伝え合うことができる
- ・意欲的に国際交流に関わり、自ら進んで英語でコミュニケーションを図ることができる

英語理解の能力		英語表現の能力		
学年	聞くこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	
中学校3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境問題や平和問題などの社会的な話題について、短い説明であれば、話の要点をとらえることができる。 ・道案内や電話、買い物などの場面ではつきりと語ざれば、相手の言っていることの要点を理解することができる。 ・英語のアナウンスを聞いて、自分の必要とする情報の概要を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な話題に関して、ペアやグループになって意見交換をすることができる。 ・道案内や電話、買い物などの場面で、相手や状況に合わせて、丁寧な言い方で話し合うことができる。 ・話題に関連する質問を付け加えながら、会話を発展させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な話題に関して、自分の考えたことや感じたこと、その理由などを要約し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ・聞き手に分かりやすいように、内容や順序を整理し、アイコンタクトや姿勢、表情などを工夫しながら笑顔で話さずりとスピーチすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことや感じたことなどを簡単な文に書き、「[frst]」や「[second]」などを用いながら整理して文章にすることができる。 ・字ひびった生駒の興味関心のあることについて、調べたことや自分の考え、思いを入れながら、全体の構成を考えて書くことができる。
中学校2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・はつきりと語ざれば、学校生活や家庭生活に関する会話や説明について、全体的な内容を理解することができる。 ・道案内や電話、買い物などの場面ではつきりと語ざれば、大まかな内容を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のことや興味のあることなど日常的な事柄について、メモにまとめ、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。 ・道案内や電話、買い物などの場面で、簡単な語句や文を用いて、地図で示したりジェスチャーを加えたりしながら伝え合うことができる。 ・相手の話を受けて、自分のことを伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のことや興味のあることなど日常的な事柄について、自分の考えや気持ちなどをまとめ、スピーチすることができる。 ・聞き手に分かりやすいように、内容や順序を整理し、アイコンタクトや姿勢、表情などを工夫しながらスピーチすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身のことや興味のあることなど日常的な事柄について、自分の考えや気持ちなどを入れながら、簡単な語句や文で書くことができる。 ・「[and]」や「[but]」、「[then]」を使って、簡単な文をつないでより長い文にすることができる。 ・将来の夢や、大切にしていることなどについての文章を5文以上で書くことができる。
中学校1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・はつきりと語ざれば、学校生活や家庭生活に関する簡単な内容を聞いて、理解することができる。 ・道案内や買い物などの場面ではつきりと語ざれば、自分の必要とする情報のいくつかを聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の事や興味のあることについて、その場で考えを整理しながら簡単な語句を用いて話すことができる。 ・聞き手に分かりやすいように、アイコンタクトや姿勢、表情などを工夫しながらスピーチすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の事や興味のあることについて、その場で考えを整理しながら簡単な語句を用いて話すことができる。 ・聞き手に分かりやすいように、アイコンタクトや姿勢、表情などを工夫しながらスピーチすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の事や興味のあることについて、その場で考えを整理しながら簡単な語句を用いて話すことができる。 ・「[and]」や「[but]」、「[because]」のよきな語をつないでながら、簡単な文を書くことができる。

英語理解の能力

英語表現の能力

学年	聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
小学 6年生	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりはつきりと話されれば、思いや将来の夢について、話の大まかな内容を理解することができる。 ・ゆっくりはつきりと話されれば、イラストや写真などを参考にしながら、友達や家族、学校生活や地域など身近な事柄について、必要な情報を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出や将来の夢などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を推測しながら読み、大まかな内容が分かる。 ・イラストやパンフレットなどから、活字で書かれた文字を見分け、その文字の読み方を発音することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の思い出や将来の夢について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えたり、質問に対してその場で答えたりすることができる。 ・地域や国の良さや課題などについて、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問に対してその場で答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを見ながら、友達など第三者のことについて紹介することができる。 ・中学校生活に向けて、やりたいことややってみたいことなどについて、伝えようとする内容をまとめた上で、自分の気持ちを話すことができる。 ・将来の夢や職業について、伝えようとする内容をまとめた上で、自分の考えや気持ちを話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの英文字と小文字を書くことができる。 ・将来の夢や職業などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から、言葉を選んで書くことができる。
小学 5年生	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりはつきりと話されれば、家庭生活や学校生活などの身近な簡単な事柄について、話の大まかな内容を理解することができる。 ・ゆっくりはつきりと話されれば、日付や時刻、値段などの日常生活について、具体的な情報を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国や憧れの人などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を推測しながら読み、大まかな内容が分かる。 ・イラストやパンフレットなどから、活字で書かれた文字を見分け、その文字の読み方を発音することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、レストランやお店で注文や料金の支払いをすることができる。 ・地図を用いながら、目的地までの道順を質問したり答えたりすることができる。 ・憧れの人のことについて、簡単な言葉を使って質問したり答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や資料を用いながら、自分の行ってみたい国や地域について、理由も含めて4文程度の説明をすることができる。 ・自分の毎日の生活について、時刻や場所などを入れながら説明することができる。 ・憧れの人のことについて、紹介することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの英文字を書くことができる。 ・自分の毎日の生活についてや行ってみたい国、憧れの人などについて、例文を参考に、単語の順番などを意識しながら英語を書き写すことができる。 ・名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から、言葉を選んで書くことができる。
小学 4年生	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりはつきりと話されれば、天気や曜日、時間について、また文房具などの持ち物、好きな食べ物など日常生活に関する身近で簡単な事柄について聞き、大まかな内容を理解することができる。 ・日常的な英語の挨拶や教室での簡単な指示(クラスルーム・イングリッシュ)を、理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字で書かれた自分の名前前のアルファベットを、発音することができる。 ・身近なものからアルファベットの小文字で書かれているものを探し、発音することができる。 ・フォニックスを通して、文字と発音との結びつきがあることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をすることができる。 ・身の回りの物について、何が好きなのかを質問したり答えたりすることができる。 ・自分の好きなことや欲しいもの、お気に入りの場所などについて、理由も入れながら簡単な語句や基本的な表現を用いて話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーを工夫し、自分の考えや気持ちを入れながら、4文程度の自己紹介をすることができる。 ・自分の好きなことや欲しいもの、お気に入りの場所などについて、理由も入れながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを使って、自分の名前を書くことができる。

英語理解の能力		英語表現の能力		
学年	聞くこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	
小学校 3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりはつきりと話されれば、教や好きなものなどについての話を聞き、大まかな内容を理解することができる。 ・日常的な英語の挨拶や教室での簡単な指示(クラスルーム・イングリッシュ)を、理解することができる。 ・アルファベットが読まれているのを聞き、どの文字であるかを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をすることができ、何が好きなものかを質問したり答えたりすることができる。 ・色や形などを質問しながら、ある物が何かを当てるクイズを出したり答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーを工夫しながら、3文程度の自己紹介をすることができ、身の回りの物について、色や形などで説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを使って、自分の名前を書き写すことができる。
小学校 2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現でゆっくりはつきりと話されれば、相手が欲しがっている野菜や果物などが分かる。 ・体の部位や野菜、果物、乗り物など、自分自身や身の回りの物についての単語を聞き、そのイラストと結びつける。 ・1から20までの数字を聞き取る。 ・日常的な英語の挨拶や教室での簡単な指示(クラスルーム・イングリッシュ)が分かる。 ・アルファベットが読まれているのを聞き、どの文字であるかを推察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーを工夫しながら、挨拶や自分の気持ちを伝え合う。 ・ジェスチャーや絵を用いて、好きな食べ物や、欲しいもの、またその数について答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーを工夫しながら、自己紹介をする。 ・ジェスチャーや絵を用いて、基本的な表現で、好きな食べ物や欲しいもの、またその数について伝える。 	
小学校 1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現でゆっくりはつきりと話されれば、相手の好きな色や形、動物などが分かる。 ・日常的な英語の挨拶や教室での簡単な指示(クラスルーム・イングリッシュ)について、授業者やALT、友達の色や形、動物、曜日など身近な単語を聞き、その単語のイラストと結びつける。 ・アルファベットが読まれているのを聞き、どの文字であるかを推察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーを工夫しながら、挨拶や自分の気持ちを伝え合う。 ・ジェスチャーや絵を用いて、好きな色や形、動物などを質問したり答えたりする。 ・ペアやグループになって、英語でじゃんけんをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーを工夫しながら、自己紹介をする。 ・ジェスチャーや絵を用いて、基本的な表現で、好きな色や形、動物等を伝える。 	

資料1. 小学校各学年年間指導計画

小学校全学年年間指導計画

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	READY GO! 1	READY GO! 2	Let's Try! 1	Let's Try! 2	New Horizon E5	New Horizon E6
4月			Unit 1 Hello! あいさつして友達になろう	Unit 1 Hello, world! 世界のいろいろなことばで あいさつしよう	Unit 1 Hello, friends.	Unit 1 This is me.
5月	Unit 1 Hello! あいさつをしよう	Unit 1 Hello! あいさつをしよう	Unit 2 How are you? ごきげんいかが?	Unit 2 Let's play cards. すきな遊びを伝えよう	Unit 2 When is your birthday?	Unit 2 How is your school life?
6月			Unit 3 How many? 数えてあそぼう	Unit 3 I like Mondays. 好きな曜日は何かな?	Unit 3 What do you want to study?	Unit 3 Let's go to Italy.
7月	Unit 2 How are you? からだのちようしを きいてみよう	Unit 2 Wash your hands. 手をあらおう	Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう	Unit 4 What time is it? 今何時?	Check Your Steps 1 外国の人に自己紹介をしよう	Check Your steps 1 外国の人にメッセージを 伝えよう
9月			Unit 5 What do you like? 何がすき?	Unit 5 Do you have a pen? おすすめ文房具セットを つくろう	Unit 4 He can bake bread well.	Unit 4 Summer Vacations in the World.
10月	Unit 3 I like animals. すきなどうぶつを つたえよう	Unit 3 How many? (1~20) いろいろなものを数えよう	Unit 6 ALPHABET アルファベットとなかよし	Unit 6 Alphabet アルファベットで 文字遊びをしよう	Unit 5 Where is the post office?	Unit 5 We all live on the Earth.
11月			Unit 7 This is for you. カードをおくろう	Unit 7 What do you want? ほしいものは何かな?	Unit 6 What would you like?	Unit 6 Let's think about our food.
12月	Unit 4 What color do you like? すきないろやかたちを きいてみよう	Unit 4 What do you want? ほしいものをつたえよう	Unit 8 What's this? これなあに?	Unit 8 This is my favorite place. お気に入りの場所を しようかいしよう	Check Your Steps 2 地域のおすすめを紹介 しよう	Check Your Steps 2 世界と自分のつながりを 紹介しよう
1月			Unit 9 Who are you? きみはだれ?	Unit 9 This is my day. ぼく・わたしの一日	Unit 7 Welcome to Japan.	Unit 7 My Best Memory.
2月	Unit 5 What day is it today? きょうはなんようびか きいてみよう	Unit 5 Do you like vegetables? 野菜がすきか きいてみよう			Unit 8 Who is your hero?	Unit 8 My Future, My Dream.
3月					Check Your Steps 3 「日本のすてき」を紹介しよう	Check Your steps 3 寄せ書きのメッセージを 伝えよう

1年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	単元名 (Unit)	表現例・活動例
1 (1)	R G ①-1	Hello! あいさつをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・Hello. What is your name?/My name is ~. ・Nice to meet you./Nice to meet you too. ・Goodbye. ・【歌】Hello, Nice to Meet You/See You Later (See You Again)/London Bridge/The ABC Song/Clean Up ・【ABC chant】
2 (2)	R G ①-2	How are you? からだの ちょうしを きいてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・Hello. How are you?/I am fine. Thank you/ And you?/I am __./Thank you. ・【歌】Hello, Nice to Meet You/If You're Happy/ See You Later(See You Again)/The ABC Song/Clean Up ・【ABC chant】
3 (2)	R G ①-3	I like animals. すきなどうぶつを つたえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ It is a __. ・ Is it big or small?/It is small./It is big. ・ Do you like __?/Yes, I do./No, I don't. ・ I like __./I don't like __. ・【歌】If You're Happy/Big or Little Animal/See You Later, Alligator/Who is in the zoo?/The ABC Song /Clean Up ・【ABC chant】【ABC 色塗り】
4 (3)	R G ①-4	What color do you like? すきないろやかたちを きいてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・What is this?/It is a (triangle). ・What color is this?/It is (red). ・What color do you like?/I like (blue). ・【歌】 Big or Little Animal/The ABC Song/Clean Up /I See Something Pink/The Shape Song # 1/See You Later, Alligator ・【ABC chant】【ABC 色塗り】
5 (2)	R G ①-5	What day is it today? きょうはなんようびか きいてみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・What day is it today?/It is Monday. ・Today is Monday. ・【歌】Hello, Nice to meet you/The ABC Song/Clean Up/What Day Is It Today?/See You Later(See You Again) ・【ABC chant】【ABC 色塗り】

2年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	単元名 (Unit)	表現・活動例
1 (1)	R G ② - 1	Hello! Nice to meet you. あいさつをしよう	Hello. My Name is ____ . What's your name? How are you?/I am ____ and you? Nice to meet you./Nice to meet you too. 【歌】Hello, Nice to Meet You/What Day Is It Today?/If You're Happy/See You Later(See You Again.) 【ABC chant】
2 (2)	R G ② - 2	Wash your hands. てをあらおう	Touch your ____ . Wash your ____ . 【歌】Hello Hello!/One Little Finger/ Around a Circle/The Bath Song 【ABC chant】
3 (2)	R G ② - 3	How many? いろいろなものを かぞえよう	How many? How old are you? I'm ____ . 【歌】Stand Up, Sit Down/ How Many Fingers/ Around a Circle/ See You Later(See You Again) 【ABC chant】
4 (2)	R G ② - 4	What do you want? ほしいものを つたえよう	What do you want? I want a ____ . What color do you want? I want (blue) 【歌】 Stand Up, Sit Down/It's a Big Bus/ See You Later(See You Again) 【ABC chant】
5 (3)	R G ② - 5	Do you like vegetables? やさいがすきか、 きいてみよう	Do you like ____? Yes, I do./No, I don't. I like bananas./I don't like bananas. 【歌】It's a Big Bus/ Carrots Are Yummy/ Bye Bye Goodbye/ See You Later(See You Again) 【ABC chant】

【参考】1年生2年生の歌・絵本

◆歌 CD Super Simple Songs

- 1- 4 One Little Finger
- 1- 7 Clean Up!
- 1- 8 If You're Happy
- 1-11 I See Something Pink
- 1-16 The Bath Songs
- 2-13 The Shape Songs # 1
- 2-18 Mystery Box
- 2-21 See You Later, Alligator
- 3- 1 Hello Hello!
- 3-19 Bye Bye Goodbye

◆歌 CD Fun Kids Songs

- 1- 5 The ABC Song
- 1-16 Stand Up, Sit Down
- 2- 2 Hello, Nice to Meet You!
- 1- 4 It's a Big Bus
- 2- 9 Big or Little Animal
- 2-11 What Day Is It Today?
- 2-15 Carrots Are Yummy
- 2- 3 1 Hand 2 Hands
- 3-10 Around a Circle
- 3-17 See You Later(See You Again)

◆絵本

- | | |
|--|-----------------|
| 1. Brown Bear Brown Bear. What do you see? | Eric Carle |
| 2. From Head to Toe | Eric Carle |
| 3. Today is Monday | Eric Carle |
| 4. A Beautiful Butterfly | Mikiko Nakamoto |
| 5. The Very Busy Spider | Eric Carle |
| 6. The Very Hungry Caterpillar | Eric Carle |

3年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	タイトル・題材	表現	主な活動
1 (2)	L T ① i	Hello! あいさつをして友達に なろう	Hello. Hi. I'm (Hinata). Goodbye. See you.	・映像資料を視聴し、世界には様々な言語 があることを知る。 ・名前を言って挨拶をする。
2 (2)	L T ① 2	How are you? ごきげんいかが?	How are you? I'm (happy).	・友達と挨拶をして、ジェスチャーを交えて 自分の様子や状態を伝える。
3 (4)	L T ① 3	How many? 数えてあそぼう	How many apples? Ten apples.	・身の回りの物の数や、好きな漢字の画 数を尋ねたり答えたりして伝え合う。
4 (4)	L T ① 4	I like blue. 好きなものをつたえよう	I like blue. Do you like blue? Yes, I do./No, I don't. I don't like blue.	・映像資料を視聴し、世界の子供たちの 描く虹の絵を見て違いに気付く。 ・友達の好き嫌いを予想してインタビュー する。 ・自分の好きなものと言って自己紹介をす る。
5 (4)	L T ① 5	What do you like? 何が好き?	What do you like? I like tennis. What (sport) do you like? I like soccer.	・どのような物が好きかを尋ねたり答え たりして伝え合う。
6 (4)	L T ① 6	ALPHABET アルファベットとなかよ し	The "A" card, please. Here you are. Thank you. You're welcome.	・映像資料を視聴し、大文字の様々な表示 を見て何を表しているかを考える。 ・児童用テキスト誌面から大文字を探す。 ・自分の姓名の頭文字を伝え合う。
7 (5)	L T ① 7	This is for you. カードをおくろう	What do you want? A star, please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.	・プレゼントするカードを作るために、欲しい 色や形を尋ねたり答えたりする。 ・作成したカードを見せて紹介する。
8 (5)	L T ① 8	What's this? これなあに?	What's this? Hint, please. It's a fruit. It's green. It's a melon. That's right.	・映像資料を視聴し、ある物が何かを考 えて答える。 ・あるものについてのヒントを聞いて、それが 何かを考えて答える。 ・あるものについてヒントを考え、クイズを出 したり答えたりする。
9 (5)	L T ① 9	Who are you? ~"In the Autumn Forest"~ きみはだれ?	Are you (a dog)? Yes, I am/No, I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please.	・絵本の読み聞かせを聞いたり、絵本につ いての質問に答えたりする。 ・台詞を真似て言う。

4年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	タイトル・題材	表現	主な活動
1 (2)	L T ② ・ 1	Hello, world! 世界のいろいろなことば であいさつをしよう	Hello. Good [morning/afternoon /night]. I like (strawberries). Goodbye. See you.	・映像資料を視聴し、世界の様々な 挨拶の言い方を知る。 ・ペアで名前を言って挨拶をする。
2 (4)	L T ② ・ 2	Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう	How's the weather? It's sunny. Let's play cards. Yes, let's. Sorry.	・映像資料を視聴し、世界や日本各 地の子供たちの遊びについて知る。 ・好きな遊びを尋ねたり答えたりす る。 ・自分の好きな遊びを言って、誘う。
3 (3)	L T ② ・ 3	I like Mondays. 好きな曜日は何かな?	What day is it? It's Monday. Do you like Mondays? Yes, I do. I like (Mondays).	・曜日を尋ねたり答えたりし、自分の 好きな曜日を伝え合う。
4 (4)	L T ② ・ 4	What time is it? 今、何時?	What time is it? It's (8:30). It's (homework time). How about you?	・イラストなどを参考に、一日の生活 の中の自分の好きな時間を伝え合 う。
5 (4)	L T ② ・ 5	Do you have a pen? おすすめの文房具セット をつくろう	Do you have a pen? Yes, I do. I have a pen. This is for you.	・文房具についてやり取りをし、自分 の文房具セットを作る。 ・身近な人に文房具セットを作り、誰 のためにどのようなセットを作ったか を紹介する。
6 (4)	L T ② ・ 6	Alphabet アルファベットで文字遊 びをしよう	Look What's this? Hint, please. How many letters? I have six. Do you have a 'b'? Yes, I do. That's right. Sorry. Try again.	・アルファベットの文字をヒントに、単 語当てクイズをする。
7 (5)	L T ② ・ 7	What do you want? ほしいものは何かな	What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.	・相手に勧めたいオリジナルメニュー を作るために、買い物場面が必要 な食材についてやり取りをする。 ・作ったオリジナルメニューを見せな がら紹介する。
8 (4)	L T ② ・ 8	This is my favorite place. お気に入りの場所をしよ うかいしよう	Go straight. Turn [right/left]. Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).	・映像資料を視聴し、世界の子供た ちと自分たちの学校生活の共通点 と相違点を知る。 ・校内を案内する。 ・ペアで校内のお気に入りの場所に ついて紹介し合う。
9 (5)	L T ② ・ 9	This is my day. ~"Good Morning"~ ぼく・わたしの一日	I wake up (at 6:00). I eat breakfast (at 7:00). I go to school. I go home. I take a bath.	・絵本の読み聞かせを聞いたり、絵 本についての質問に答えたりする。 ・校内の先生の生活について聞き、 どの先生かを当てる。

5年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	タイトル・題材	表現	主な活動
1 (8)	N H 5	Hello, friends.	I'm _____. My name is _____. I like _____. What _____ do you like?	・友達と好きなものや好きなことを尋ね合ったり、巻末絵カードをつかって英語の語順を考えたりする。 ・スポーツ、学校色、食べ物に関する語句や表現に慣れ親しむ。
2 (8)	N H 5	When is your birthday?	When is ____? My birthday is _____. What do you want for ____? I want _____.	・誕生日やほしいものについての登場人物の会話や世界の行事や祝日についての話を聞く。 ・誕生日の日付やほしいものを尋ね合ったりする。
3 (8)	N H 5	What do you want to study?	What do you want to study? I want to study _____. What do you want to be? I want to be _____.	・登場人物や世界の友だちの学びたい教科や時間割、なりたい職業についての話を聞く。 ・学びたい教科やなりたい職業についてたずね合った上で、「夢に近づく時間割」を作り、紹介する。
(2)	N H 5	外国人に自己紹介をしよう	既習の表現を使って	・既に習った表現を用いて、初めて会う外国の人に対して自己紹介をする。
4 (8)	N H 5	He can bake bread well.	I/ You/ He/ She can ~. Can you ____? Who is ____? This is _____.	・身近な人のできることなどについて、聞いたり伝えたり話したりする。 ・先生や友達にインタビューをする。 ・世界の町で働く人々や英語と日本語の違いについて考える。
5 (8)	N H 5	Where is the post office?	Where is ____? Go straight for ___ block(s). Turn left/ right. It's by/ in/ on/ under ~. You can see it on your ~.	・道案内や探し物がどこにあるのか、外国の記号についての話を聞く。 ・さがしものがどこにあるのか尋ね合ったり、道案内をしたりする。
6 (8)	N H 5	What would you like?	What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~yen.	・自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりする。 ・世界の料理についての話を聞く。
(2)	N H 5	地域のおおすすめを紹介しよう	既習の表現を使って	・地域のおすすめを外国の人に紹介したり、建物や人、特産物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話す。
7 (8)	N H 5	Welcome to Japan.	Why do you like ~? We have ~. What do you do ~? I usually ~. You can ~.	・登場人物の日本の四季や文化についての話や世界で食べられている日本の食べ物についての話を聞く。 ・日本の四季や文化などについて聞いたり伝え合ったりする。
8 (8)	N H 5	Who is your hero?	Who is your hero? My hero is ~. Why is ~ your hero? He/ She is good at ~.	・日常生活やあこがれの人、海を越えて活躍する日本のヒーローたちの話を聞く。 ・自分にとってのヒーローや憧れの人 が得意なことなどについて聞いたり伝え合ったりする。
(2)	N H 5	「日本のすてき」を紹介しよう	既習の表現を使って	・英語の先生に「日本のすてき」を紹介することを想定し、他人や行儀、食べ物などについての考えや気持ちを話す。

6年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	タイトル・題材	表現	主な活動
1 (8)	N H 6	This is me. 自己紹介	I'm ~. I'm from ~. My birthday is ~.	・名前や好きなもの・こと、誕生日などについて聞いたり、それらについてたずね合ったり、書いたりする。 ・国、動物、月、日付に関する語句や表現に慣れ親しむ。
2 (8)	N H 6	How is your school life?	I live in ~. I go to ~. I usually ~. My treasure ~.	・学校生活や日常生活、宝物などについて伝え合う。 ・乗り物、一日の時間、文房具、日常生活に関する語句や表現に慣れ親しむ。
3 (8)	N H 6	Let's go to Italy.	~is ... You can ~. It's ~.	・世界の有名な建物や食べ物などの話を聞いたり、たずね合ったりする。 ・国、様子、食べ物、味などに関する語句や表現に慣れ親しむ。
(2)	N H 6	学校の人にメッセージを伝えよう	既習の表現を使って	・外国の人にメッセージを伝えるために自分の名前や好きなこと、日表生活、宝物、行ってみたい国などについて簡単な語句や表現を使ってみる。
4 (8)	N H 6	Summer Vacations in the World.	I went to ~. I enjoyed ~. I ate ~. It was ~.	・夏休みの思い出や昨日食べたものについて友達と伝え合う。 世界と日本の夏休みの過ごし方を知る。 ・自然、食べ物、デザートなどに関する語句や表現に慣れ親しむ。
5 (8)	N H 6	We all live on the Earth.	Where do ~live? ~live in ~. What do ~eat? ~eat~.	・地球に暮らす生き物がどこで暮らし、何を食べているのか、など伝え合う。 ・海の生き物、自然、からだ、動物、虫に関する語句や表現に慣れ親しむ。
6 (8)	N H 6	Let's think about our food.	I eat ~. I usually ate ~. ~is from ~. ~is in the ~group.	・食べたものや産地、栄養素のグループなどについて、聞いたり話したりする。 ・食べ物、食事、食材、果物、野菜に関する語句や表現に慣れ親しむ。
(2)	N H 6	世界と自分のつながりを紹介しよう	既習の表現を使って	・世界と自分のつながりを紹介するために、持ち物や動物、耐え者などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話す。
7 (8)	N H 6	My Best Memory	My best memory is ~. We went ~. We saw ~. I enjoyed ~.	・小学校生活の思い出や学校行事についての話を聞いたり、伝えたりする。 ・学校行事、したこと、建物など、動作などに関する語句や表現に慣れ親しむ。
8 (8)	N H 6	My Future, My Dream	I want to join ~. I want to enjoy ~. I'm good at ~. I want to be ~.	・中学校で楽しみたい学校行事や入りたい部活動、得意なこと、将来なりたい職業などについて、きいたり伝えたりする。 ・部活動や学校行事、動作など、教科、職業に関する語句や表現に慣れ親しむ。
(2)	N H 6	寄せ書きのメッセージを伝えよう	既習の表現を使って	・卒業記念としてクラスみんなに伝えたいメッセージを寄せ書きに書いて、それを紹介するスピーチをする。

資料2. 小学校における外国語活動及び外国語の
授業について

小学校における外国語活動及び外国語の授業について

1. 令和2年度小学校外国語活動の指導体制について

(1) 授業時数

1年生 2年生 (授業時数 10 時間)	HRT+ALT	10 時間
3年生 4年生 (授業時数 35 時間)	HRT+ALT	16 時間
	HRT	19 時間
5年生 6年生 (授業時数 70 時間)	HRT+ALT	16 時間
	HRT+わくわく	15 時間
	HRT	39 時間

ALT:外国語指導助手 (Assistant Language Teacher)

HRT:学級担任 (Home Room Teacher)

わくわく:わくわくイングリッシュサポーター

(2) ALT 等とのチーム・ティーチング (T・T) について

・英語の授業は、原則学級担任が年間指導計画や到達目標をもとに、授業の流れを考え、視聴覚機器やICT機器を活用しながら進めていく。ALTやわくわくイングリッシュサポーターとのチーム・ティーチングを行う時は、事前に打ち合わせの上、原則学級担任が主となって授業を行う。

※ALTやわくわくイングリッシュサポーターは、教員免許を所持していないため、単独での指導はできない。

《チームティーチングの役割と効果》

【学級担任の役割】

○授業のコーディネーター

- ・「児童の言いたいことを引き出す」「英語で言えないことを代弁する」など、児童の学習をサポートする。
- ・児童の反応を見て、ALT等の発言を止め、繰り返させたり、ゆっくり言わせたりするなど、ALT等と児童をつなぐ。

○授業をデザインする

- ・児童の発達段階に応じた内容、他教科などに関連させるなど、児童の興味・関心を生かした活動を考える。

【ALT等の役割】

○コミュニケーションの相手

- ・実際に英語を使う体験
- ・外国の人に直接触れる体験

○ネイティブ・スピーカーとしての英語力

- ・生きた英語によるインプット
- ・発音のモデル

(文科省 小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック P108~P113 より引用)

2. 指導の留意点

(1) 子どもたちが、主体的に活動できる外国語活動に

- ① 授業は、英語での指示・発問が望ましい。短い指示・発問であれば、毎回繰り返し活動することで、理解できるようになる。
- ② ジェスチャーやフラッシュカード、写真、記号等を用いて、意味がわかるように工夫を凝らす。英語の意味がわからなくても、何を言っているのかを想像させることが大切である。
- ③ アクティビティの前に、ダイアログの練習を十分に行う。アクティビティは、子どもたちが英語を用いて話すことに挑戦し、達成感を多く感じる場に行きたい。練習では、列指名などで簡単に子どもの実態を把握し、誰もがアクティビティに参加できるように工夫したい。
- ④ 単語やダイアログの練習は、オウム返しのように繰り返し練習するだけでなく、提示されたカードをもとに、自ら考え、発声する機会を作りたい。繰り返しを言わせるだけでは、実力で発声したとは言えない。
- ⑤ 失敗を指摘したり注意したりするのではなく、少しの成果を大いに褒めたい。気になる間違いに対しては、リキャストでさりげなく正しい英語で返事をしながら気付かせてあげたい。

《単語やダイアログの練習例》

- フラッシュカード等を繰り返して練習する際は、1回目は単語を2回ずつリピートし、2回目は1回ずつリピートする。3回目は、指導者は何も言わず、カードを見て子どもだけで発声する。
- 場合によっては、ジェスチャーを交えて発声する。
- 指導者がフラッシュカードを見せて、「What's this?」と質問し、子どもたちが「It's ___。」と答える。これをテンポよく繰り返し練習する。
- 逆に、子どもたちが「What's this?」と質問し、指導者がフラッシュカードを示しながら答えを言う。
- 席順の右半分と左半分をAグループ、Bグループと分ける。Aグループが「問いの文」を言い、Bグループが「答えの文」を言う。指導者は、答えのフラッシュカードをテンポ良く示し、問い掛けの会話を繰り返し練習する。

(2) 1時間の授業のパターンを作る

授業の基本パターンを作れば、学習するダイアログが変わっても、授業の準備に対する負担が軽減する。また、子どもたちにとっても、見通しを持って授業を受けることができる。

生駒市の低学年のカリキュラムでは、以下のような流れになっている。

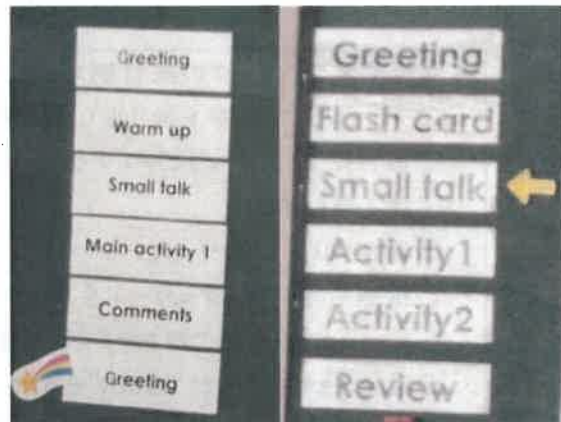
《1年生2年生の外国語活動カリキュラムの授業構成》

- ① ウォーミングアップ(英語の時間の雰囲気作り、動機づけ)
 - ・ハローソング
 - ・前時までに親しんだ表現の復習(挨拶、会話)
- ② アルファベットの学習
 - ・歌、チャンツ、フォニックス、色ぬり
- ③ アクティビティ(めあてを達成させるための活動)
 - ・新出語句の練習
 - ・新出ダイアログの練習(フラッシュカード、歌、ゲーム活動等)
 - ・コミュニケーション活動、自己表現活動(インタビュー、ゲーム活動等)
- ④ 絵本の読み聞かせ
- ⑤ 本時の振り返り(学習の喜びや充実感の醸成)
 - ・振り返りシート
 - ・Goodbye song
 - ・終わりの挨拶

本時のメイン活動「アクティビティ」では、ALTとデモンストレーションを行い、会話の状況設定を示す。日本語に頼らず、実物やジェスチャーを使って推測させながら、活動の方法を把握させる。

絵本の読み聞かせでは、絵を手掛かりに内容を推測させながら、たくさんの英語を聞かせる。

1時間の授業の流れが見えるように、右図のように掲示すると効果的である。



図：1時間の流れが分かる掲示例

(参照：文科省 小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック P175～P181)

(3) 日常の中に英語と触れ合える機会をつくる。

① クラスルーム・イングリッシュの活用

外国語活動の授業では、研修ガイドブック P118～P123 を参考に積極的にクラスルーム・イングリッシュを用いる。日常の学校生活の中でも、配布物を配るときに「Here you are.」「Thank you.」と声を掛け合ったり、「How is the weather?」「Make pairs.」「What color is it?」など授業でよく使うフレーズに触れたりすることで、子どもたちは英語を身近に感じることができる。主体的に話そうとする環境づくりができる。

② 掲示物の工夫

教室掲示や階段のステップ、また身の回りの物に対して、英語に関連する掲示をすることで、身近に英語に触れ合える環境になる。

3. 授業で使える、教材、教具、資料等の紹介

(1) 生駒市小学校外国語活動カリキュラム、指導案(1年生・2年生)等

教育サイボウズ⇒ファイル管理⇒英語教育(外国語活動)関連 よりアクセス

(2) 文部科学省研修ガイドブック、「We Can!」「Let's Try!」の文部科学省指導案例等

教育サイボウズ⇒ファイル管理⇒英語教育(外国語活動)関連 よりアクセス

(3) 文部科学省教材「We Can!」「Let's Try!」デジタル教材

教科書内容の音声や動画、音楽、また、素材集が入っている。

教育サーバーにインストール済み。各 PC にショートカットがある。

※事前に教室で動作確認をしておくこと。

(4) 生駒市外国語活動教材「Ready... Go!」(1年生・2年生)

生駒市オリジナル英語教育教材。

(5) 音楽 CD

・Super Simple Songs ①②③(各小学校へ配布)

・Fun Kids Songs ①②③ (各小学校へ配布)

(6) 絵本

・Brown Bear, Brown Bear, What do you see? ・The Very Busy Spider

・A Beautiful Butterfly ・Today is Monday

・The Very Hungry Caterpillar ・The Little Red Hen

(各小学校へ配布)

(7) Super Simple ホームページ <https://supersimpleonline.com/>

「Free Resource」⇒CD に収録されている曲の動画、フラッシュカードやカルタカードの素材集を活用することができる。

(8) Fun Kids Songs ホームページ <http://funkidsenglish.com/>

「Free Resource」⇒CD に収録されている曲の動画、フラッシュカードやカルタカードの素材集を活用することができる。

4. 授業で使えるアクティビティの紹介

(1) ポインティングゲーム

- ・ 指導者が言った単語を、イラストの中から選び、指で押さえる。
- ・ 隣の人と正しく押さえているのか確認し合いながら繰り返す。
- ・ 慣れてくると、「What's this?」や「What color is it?」など、子どもたちが問い、指導者が答えたものを指で押さえる活動に発展する。

(2) 「ロンドン橋落ちた」ゲーム

- ・ 全員で円を作る。二人組の橋を3～4つ作る。
- ・ 「ロンドン橋落ちた」の曲に合わせて、「What's your name? What's your name? ...」と、歌いながら橋の下をくぐる。
- ・ 曲の最後に橋が下がり、捕まった児童は、「My name is ○○.」と自分の名前を言う。

(3) 名刺交換ゲーム

- ・ 互いに名前を言い合ったり、インタビューをし合ったりしながら、名刺やカードを交換していく。

(4) ジェスチャーゲーム

- ・ HRT は、フラッシュカードを持って教室の後ろに立ち、前に立つ ALT に体調を表すフラッシュカードを提示する。
- ・ 前を向いている児童は、前に立つ ALT に How are you? と声を合わせて尋ねる。
- ・ ALT は、HRT が提示したカードのジェスチャーをする。
- ・ 児童は、ALT のジェスチャーを見て、何を表しているのか英語で答える。
- ・ 何回も繰り返す。慣れてきたら、1セットの時間を計る。
- ・ ALT と役割を変更し、グループごとに、1セットの時間を計り競い合う。

(5) ミッシングカードゲーム

- ・ 黒板の前に、グループごとに列に並び座らせる。
 - ・ 1列目は立ち、後ろを向かせる。
 - ・ 指導者は、あらかじめ黒板に貼ったカードから1枚取り隠し、他をシャッフルする。
 - ・ 1列目を前に向かせ「What's missing?」と問う。
 - ・ 児童は、ALT の持っているカードを予想し、ジェスチャーをしながら答える。
 - ・ 次に二列目が立ち、繰り返す。
- ※ 単元によっては、「What's missing?」ではなく、「What's this?」や「What do you want?」と一斉に発声してもよい。

(6) インタビューリレーゲーム

- ・グループを4つ(A,B,C,D)作り、それぞれ1列に並ぶ。ALTはAとBの前に立ち、HRTはCとDの前に立つ。1番前の児童が立ち、AとB、CとDが互いにダイアログを言い合う。指導者の合格をもらったら、列の後ろに回り、二番目の児童が挑戦する。全員が言い終わったら、座って終了。
- ・あいさつした後、互いにじゃんけんをする。勝った人は後ろへ回り、負けた人はもう一度あいさつをする。全員が言い終わったら座って終了。

(7) かるたゲーム

- ・グループを作り、机の上にかるたをランダムに置く。
 - ・指導者は単語の名前をテンポよく言い、児童はリズムに合わせて繰り返し言いながら、かるたを取る。
- ※慣れてきたら、児童が一斉に What's this? や What color is this? と尋ね、指導者がテンポよく色を答えるようにする。

(8) キーワードゲーム

- ・黒板にカードを並べて提示する。
 - ・グループを作り、机の上に消しゴムやハンカチを1つ置く。
 - ・指導者は1枚キーワードとなるカードを選ぶ。
 - ・指導者は単語をテンポよく言い、児童はリズムに合わせて繰り返し言う。
 - ・数回繰り返す。キーワードの単語を言われたら、児童は素早く消しゴムを取る。
- ※慣れてきたら、児童がテンポよく一斉に What color do you like? や What color do you want? と問い、指導者が I like ○○. と答える形で繰り返す。

(9) キーワードかるたゲーム

- ・黒板にカードを並べて提示する。
 - ・グループを作り、机の上にカルタをランダムに置く。
 - ・指導者は1枚キーワードとなるカードを選ぶ。
 - ・指導者は単語をテンポよく言い、児童はリズムに合わせて繰り返し言う。
 - ・指導者がキーワードとなる単語を言えば、児童はリピートしながら、そのカードを取ることができる。
- ※慣れてきたら、児童がテンポよく一斉に What number? や How many? How old are you? と質問、指導者が答える形で繰り返す。

(10) カラーバスケット

- ・5~6色のカードを作り、一人一色ずつ配布する。
- ・座っている児童が、「What color do you like?」と問う。
- ・中に立っている児童が、「I like ○○.」と答える。答えた色と同じカードを持っている児童が、席を移動する。
- ・席に座れなかった児童が、次に答える役になる。

(11) カラータッチゲーム

- ・事前に教室にピンクやオレンジ、茶色、緑色のものを掲示しておく
- ・“I See Something Pink”の歌を歌い、“Find something pink!”という歌詞の合図で、言われた色のものを探してタッチする。

(12) カラー&形ビンゴ

- ・二人組のペアーに、ビンゴカード1枚とおはじきを8つ配布する。
- ・児童がWhat's this?と問い、指導者は形を答える。
- ・児童がWhat color is it?と問い、指導者は色を答える。
- ・形と色が同じものが、ビンゴカードにあったら、おはじきを置く。
- ・どのグループが初めにおはじきを8つ置けるかを競う。

(13) 伝言ゲーム

- ・5人~6人のグループを作り、それぞれ1列に並ぶ。
- ・ALTは、教室の後ろに立つ。
- ・一番うしろの児童とHRTは、ALTに課題を聞きに行く。
- ・列の後ろから前へ伝言していく。
- ・一番前まで進んだグループは、黒板の前で待つHRTに報告する。
- ・答え合わせをし、早さや正確さでポイントを付ける。

(14) How old are you, Mr. Wolf? (What time is it, Mr. Wolf?)

- ・全員教室の後ろに移動する。
 - ・教室の前に残ったALTは、初めのMr.Wolfになる。
 - ・子どもたちがHow old are you?と尋ね、Mr.Wolfが好きな年齢を答える。
 - ・子どもたちは、Mr.Wolfが言った数だけ、歩数を数えながら前へ進む。
 - ・Mr.Wolfが、Zeroと答えると、子どもたちは一斉に後ろへ逃げる。そのとき、Mr.Wolfにタッチされた人は、次のMr.Wolfに加わる。
- ※数回繰り返す。

(15) What's in the box?

- ・グループに分かれて、前を向いて座る。
- ・箱の中に、野菜や果物のカードを入れる。
- ・代表が前に来て、箱の中に手を入れる。
- ・児童全員で“What's in the box?”と質問する。
- ・手を入れた児童が答え、正しければポイントをゲットする。
- ・そのものに対して、Do you like ○○?やWhat color is this?と、既習内容を使った質問をする。
- ・その質問に答えることができれば、さらに1ポイントもらえる。

資料3. 英語教育における小学校と中学校の
連携に向けて

1. 中学校英語教育の充実

2020年に小学校、2021年に中学校で全面实施される新学習指導要領は、指導者が「何を教えるか」だけでなく、「英語を使って何ができるようになるか」と、児童生徒の視点に立った学習指導要領になっている。「小学校中学校の9年間を通した生駒市英語教育のCAN-DOリスト」も、中学校卒業時の目指す子どもの姿をもとに、小学校1年生から中学校3年生までの各学年の学習到達目標を、「聞く」「読む」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」の5領域において「〇〇ができる」という形にまとめたものである。今後、このCAN-DOリストを指導者と児童生徒が共有し、各目標の達成に向けて学習していくことになる。

効果的な指導方法については、今後採択される検定教科書等の内容に沿って研究を進めていくことになるが、新学習指導要領の中で大きく変更された点について確認する。

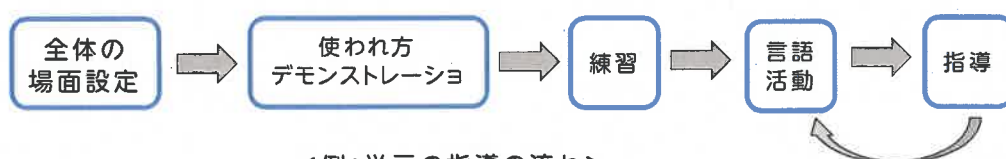
① 言語活動の充実

新しい学習指導要領の改訂の要点の中に、次のことが述べられている。

語彙や文法の知識がどれだけ身についたかに主眼が置かれるのではなく、児童生徒の学びの過程全体を通じて、知識・技能が、実際のコミュニケーションにおいて活用され、思考・判断・表現することを繰り返す中で獲得され、学習内容の理解が深まるなど、資質・能力が相互に関係し合いながら育成されることが必要である。

つまり、生徒は言語活動の中で既習の知識や経験と新たな知識と経験を活用しながら、思考力、判断力、表現力を高めていく。そして、言語活動の振り返りの中で、文法的事項や表現方法を確認し、さらに繰り返すことで正確さを培いながら定着していく。

言語活動とは、「実際に英語を用いて情報や互いの考えや気持ちを伝えあう活動」を意味する。言語活動のための練習だけで終わることの無いよう、また、「活動あつて学びなし」の授業にならないよう、指導に留意しなければならない。



<例:単元の指導の流れ>

② 英語による英語の授業

小学校において、学級担任がALTと共に進める外国語活動を体験している生徒にとっては、英語で行う授業に対して違和感が少なくなっている。中学校においては、生徒の英語に触れる機会を充実させるとともに、授業を実際のコミュニケーションの場とし、生徒が英語で話すことに対して自然に捉えられるよう、授業を英語で行うことが求められている。英語で授業を行うためには、クラスルーム・イングリッシュやスモール・トークを活用し、授業を英語でマネジメントすることが必要である。リキャストにより、生徒の英語の正確さを高めることも重要である。しかし、複雑な文法事項の補足説明など、生徒の理解度に応じて、補助的に日本語を使った方が有効である場合もある。生徒の実態に応じて工夫しながら授業づくりを行いたい。

2. 小学校と中学校の連携について

小学校の言語活動を中心とした外国語活動から中学校の外国語科へと、小学校・中学校が一貫し児童生徒の学びを確かなものにするためには、小・中学校教員の連携が重要である。まずは、それぞれの校種での「指導目標」「指導内容」「指導方法」を知ることから始めたい。情報共有の方法としては、以下のことが考えられる。

- サイボウズの共有フォルダーの活用
- デジタル教材の内容の共有（教師用 PC にインストール済み）
- 校区内小・中学校の情報交流会
- 相互の授業参観
- 公開授業、研究協議への参加

これらを通して、小学校で育んだ「簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力」が、中学校で途切れることなくスムーズに接続できるよう、それぞれの学校において指導方法や指導体制の工夫を考えたい。

実践① 小学校高学年における学級担任と中学校英語教員との T.T による授業

- ・指導形態：T1 学級担任 T2 中学校英語教員
- ・授業時数：年間 70 時間中、中学校英語教員との T.T は 35 時間
- ・授業の様子：学級担任が指導を進める中、発音の練習や会話の状況設定のデモンストラクションを中学校英語教員が担う。
- ・子どもの様子：中学校の先生に教えてもらう期待感があり、意欲的に取り組んでいる。中学校へ入学しても同じ先生に教えてもらえるので、指導方法の変化が小さく、中学校でも安心して授業を受けている。

実践② 中学校第 1 学年における少人数指導による授業

- ・指導形態：学級を名簿順に 2 グループに分けて少人数で指導している。定期テストごとに、指導者を入れ替えている。
- ・授業時数：年間 140 時間
- ・授業の様子：クラスルーム・イングリッシュやスモール・トークを取り入れながら、言語活動を中心とした授業を行っている。指導は、ICT を活用しながら英語で行っている。難しい文法の説明や個別に支援が必要な場合は日本語で指導している。
- ・子どもの様子：小学校での学習内容を中学校でスムーズに引き継ぎ発展させることができ、言語活動に抵抗感を持たずに意欲的にコミュニケーションを図っている。

